

山羊純系品種（ヌビアン種およびボア種）における調査成績

平良祥 大竹里佳 片桐慶人

I 要 約

ヌビアン種およびボア種において導入後から 24 カ月齢までの体型の推移は下記のとおりとなった。

1. ヌビアン種は最大で体重 69.0 kg, 体高 85.8 cm, 体長 88.4 cm, 十字部高 87.2 cm, 胸囲 100 cm となった。

2. ボア種（雄）は最大で体重 78.0 kg, 体高 77.6 cm, 体長 83.8 cm, 十字部高 75.8 cm, 胸囲 97 cm となり, ボア種（雌）は最大で体重 58.5 kg, 体高 72.2 cm, 体長 74.8 cm, 十字部高 69.8 cm, 胸囲 93 cm となった。

II 緒 言

沖縄県畜産研究センターでは、ニュージーランドよりボア種およびヌビアン種を導入し産肉性の改善に取り組んでいる¹⁾。しかし、本県におけるヌビアン種を含めた純系品種に関する研究はまだ少ない。そこで本報では通常の飼養管理の中で収集した、導入後から 24 カ月齢までのボア種およびヌビアン種の体型についてのデータをまとめたので報告する。

III 材料および方法

1. 試験期間および試験場所

沖縄県畜産研究センターにおいて 2019 年 9 月から 2021 年 2 月まで実施した。なお、2020 年 8 月および 10 月は測定を行っていないため、それぞれ前月と同じ値とした。

2. 供試山羊

供試山羊の概要を表 1 に示した。2019 年 7 月にニュージーランドより導入したヌビアン種の雄 4 頭, ボア種の雄 4 頭, 雌 6 頭の計 14 頭を供した。No. 3 については 2020 年 11 月に死亡したため、同年 10 月までの供試とした。

表 1 供試山羊の概要

供試No.	品種	生年月日	導入時月齢	性別
1	ヌビアン種	2018/7/20	12カ月齢	雄
2	ヌビアン種	2019/1/28	6カ月齢	雄
3	ヌビアン種	2019/1/28	6カ月齢	雄
4	ヌビアン種	2018/12/22	7カ月齢	雄
5	ボア種	2018/8/26	11カ月齢	雄
6	ボア種	2018/8/27	11カ月齢	雄
7	ボア種	2018/9/21	10カ月齢	雄
8	ボア種	2018/8/11	11カ月齢	雄
9	ボア種	2018/8/26	11カ月齢	雌
10	ボア種	2018/8/26	11カ月齢	雌
11	ボア種	2018/8/26	11カ月齢	雌
12	ボア種	2018/8/29	11カ月齢	雌
13	ボア種	2018/8/9	11カ月齢	雌
14	ボア種	2018/8/10	11カ月齢	雌

2. 飼養管理

雄は平床式房（3.5m×6.5m）にて単子飼い，雌は高床式房（3m×2m）にて2頭ずつ収容した。飼料はチモシー乾草と濃厚飼料を1日2回給与した。粗飼料給与量は畜産研究センターの通常管理と同量とし、濃厚飼料は山羊用配合飼料をヌビアン種で500g，ボア種で雄200～500g，雌100gを給与した。飲水は自由飲水とした。

また，ボア（雌）の6頭中3頭は2019年11月に種付けを行い，2020年4月に分娩した。

3. 発育成績

測定項目は体重，体高，十字部高，体長，胸囲とした。

IV 結 果

1. 発育成績

1) 体重

各品種の月齢ごとの体重平均推移および測定月ごとの体重平均推移を図1～図2に示した。測定月ごとの平均値推移では，ヌビアン種，ボア種ともに雄では月齢にかかわらず8月から9月にかけて減少した。

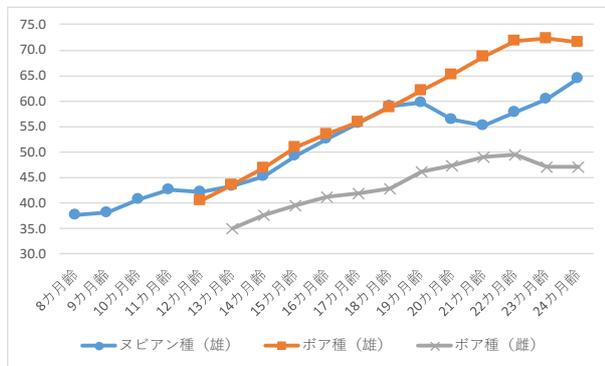


図1 月齢ごとの体重の平均推移

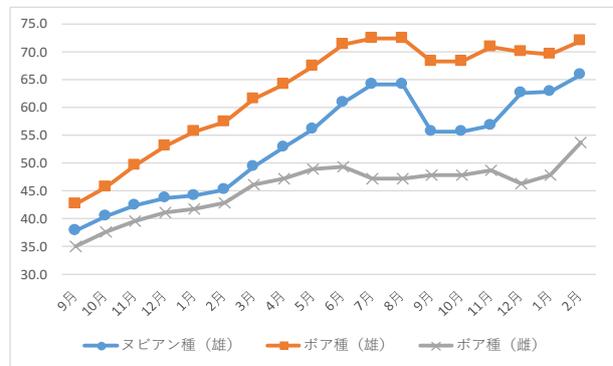


図2 測定月ごとの体重の平均推移

2) 体高

各品種の月齢ごとの体高平均推移を図3に示した。

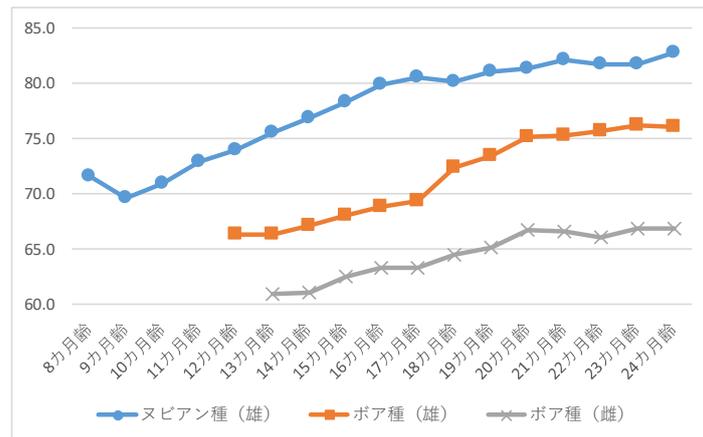


図3 月齢ごとの体高の平均推移

3) 体長

各品種の月齢ごとの体長平均推移を図4に示した。

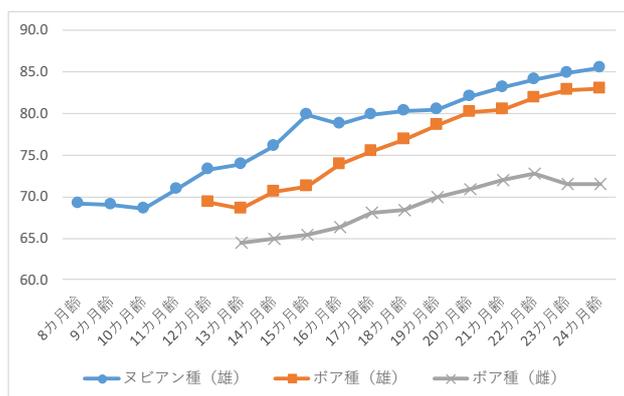


図4 月齢ごとの体長の平均推移

4) 十字部高

各品種の月齢ごとの十字部高平均推移を図5に示した。

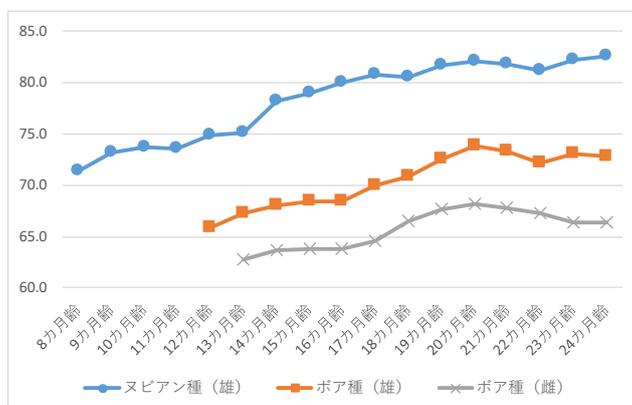


図5 月齢ごとの十字部高の平均推移

5) 胸囲

各品種の月齢ごとの胸囲平均推移を図6に示した。

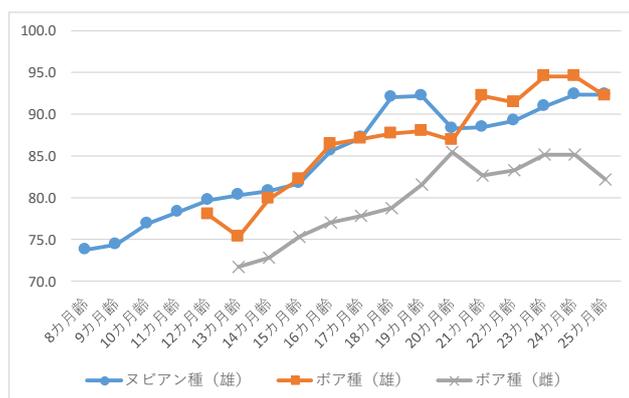


図6 月齢ごとの胸囲の平均推移

V 引用文献

- 1) 沖縄県畜産課平成31年度沖縄県山羊振興協議会第1回改良推進ワーキングチーム資料